



さいたま市立さくら草特別支援学校グランドデザイン

学校教育目標

ノーマライゼーション社会において、もてる力を発揮し、共に生きる子どもを育てる。

目指す学校像

◆「ノーマライゼーション社会において、もてる力を発揮し、共に生きる子どもを育てる」を小学部・中学部・高等部が一貫した教育活動を展開する、明るく温かな一体感のある学校

目指す児童生徒像

◆友達と楽しく過ごす子
◆たくさんの人とかかわり学ぶ子
◆進んでチャレンジする子

目指す教師像

◆教職に強い情熱を持ち、人間性豊かな教師
◆創造性があり、活力に満ちた教師
◆特別支援教育の専門家としての確かな力量がある教師

安全・安心・連携

- ・医療機関との連携
- ・地域との協力連携
- ・消防署・警察との連携
- ・委託業者との連携
- ・定期的防災避難訓練

児童生徒の目標

① 友達と楽しく過ごす子

小学部の目標

ともだちとなかよくしよう

中学部の目標

自分の気持ちを伝えよう

高等部の目標

仲間と協力し、自分の役割を精一杯がんばろう

② たくさんの人とかかわり学ぶ子

あいさつをしよう

仲間とともに力を合わせよう

ルールやマナーを守り、多くの人たちと関わろう

③ 進んでチャレンジする子

好きなことを見つけよう

好きなことや得意なことを増やそう

自分の良さを伸ばし、卒業後につながる活動をしよう

学校の概要

- ・平成24年4月1日開校
- ・さいたま市2校目の特別支援学校
- ・肢体不自由と知的障害を合わせ有する児童生徒在籍（平成28年度）
- ・児童生徒数32名（4月20日現在）
- ・教職員52名
- ・スクールバス 4便
- ・委託業者 5社（約20名）
- ・特別支援相談センターさくら草併設

(1) キャリア教育を意識した教育活動

- ・キャリア教育学習プログラムに基づいた実践
- ・学校を離れた場面での活動の促進
- ・様々な行事を通じた経験の拡大

(2) 専科による指導（音楽）

- ・認知発達やコミュニケーション能力の向上
- ・人との関係作りや学校としての一体感の醸成
- ・余暇活動につながる活動を重視した教育活動

(3) 自立活動の充実

- ・個別の指導計画に基づく、「身体」や「健康」を重視した授業づくり
- ・PDCAサイクルを意識した指導の焦点化

(4) 交流及び共同学習の積極的推進

- ・居住地校との交流近隣地域社会との交流
- ・学校間交流による関わろうとする意欲の醸成（三室小学校・三室中学校・市立高等学校など）
- ・ノーマライゼーション社会を基点とする地域と共に生きていくことの大切さの理解

(5) 特別活動の充実

- ・係活動や児童生徒会活動を通して、自己の有用感を体験させ、役割を持った社会参加への学習
- ・異年齢集団活動を生かした児童会生徒会活動、学校行事の充実



ノーマライゼーション社会の実現に向けて

学校・家庭・地域・行政・関係機関との連携

PTA・市内PTA・さいたま市立病院・学校評議員・学校関係者評価委員会・おぶさと住宅及び三室自治会
各社会福祉協議会・市立小・中・高等学校・ひまわり特別支援学校・県立特別支援学校・育ちの森幼稚園・
市立高等看護学院・SSN協議会・特別支援教育相談センター・浦和北東ロータリークラブ
市内療育センター・文化振興事業団・各民生委員